

2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年1月31日

上場会社名 株式会社KSK 上場取引所 東
 コード番号 9687 URL <https://www.ksk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 具美
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務管理本部長 (氏名) 牧野 信之 TEL 042-378-1100
 四半期報告書提出予定日 2019年2月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	11,796	5.8	963	12.3	989	11.6	664	11.6
2018年3月期第3四半期	11,150	6.6	858	14.7	886	13.5	595	6.2

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 550百万円 (△15.7%) 2018年3月期第3四半期 653百万円 (6.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	110.27	108.07
2018年3月期第3四半期	98.66	96.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	14,327	10,456	72.2	1,740.81
2018年3月期	14,311	10,330	71.5	1,695.83

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 10,349百万円 2018年3月期 10,239百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	47.00	47.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	94.00	94.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

- 配当予想の修正については、本日（2019年1月31日）公表いたしました「2019年3月期 配当予想の修正（創立45周年記念配当）に関するお知らせ」をご覧ください。
- 2019年3月期（予想）の期末配当金の内訳 普通配当 47円00銭 記念配当 47円00銭

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,300	6.2	1,360	0.4	1,400	0.8	945	0.4	157.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	7,636,368株	2018年3月期	7,636,368株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	1,691,431株	2018年3月期	1,598,411株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	6,025,147株	2018年3月期3Q	6,036,580株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、引き続き企業収益や雇用環境の改善が続いていることから、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、不安定な欧州情勢や米国における保護主義的な通商政策による貿易摩擦の拡大、東アジアでの地政学的リスクが継続していること等から、世界経済の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業界においては、産業構造や社会基盤、更には個人の仕事や生活にまで影響が及ぶような変革が進んでおります。こうした中、AI等の新たなIT技術の研究と活用に関連する需要の拡大や既存設備の更新などがあり、良好な環境が続いております。

このような環境の中、当社グループでは、より高い品質が求められる市場の需要に対応するため、品質強化への体制づくりや、プレミアムサービスの創造に向けた施策を展開してまいりました。また、将来の持続的な発展を見据えた新卒採用活動の強化や、人材育成に注力する一方、外部のビジネスパートナーを積極的に活用し受注増加に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,796百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益につきましては963百万円（前年同期比12.3%増）、経常利益につきましては989百万円（前年同期比11.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては664百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(イ) システムコア事業

半導体設計や組み込みソフト開発業務に関しては堅調に推移しておりますが、業務の一極集中によるリスク低減のため、業務の多様化・分散化を指向していることから、売上高は2,369百万円（前年同期比1.8%増）、セグメント利益は617百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

(ロ) ITソリューション事業

住宅建設業界向けのソフト開発が好調な他、自社開発のパッケージソフトウェアについては着実に受注実績を積み上げていることから、売上高は2,958百万円（前年同期比2.4%増）となりました。一方で、自社開発のパッケージソフトウェアに対する減価償却費負担が影響したこと等から、セグメント利益は306百万円（前年同期比22.4%減）となりました。

(ハ) ネットワークサービス事業

堅調な需要に支えられ、引き続き規模が拡大しております。業界未経験者の中途採用も行なうなど継続的かつ積極的な人材投資を行なった効果により、受注機会を的確に捉え、増加する需要に対応してきたこと等から、売上高は6,468百万円（前年同期比9.0%増）、セグメント利益は1,296百万円（前年同期比18.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における財政状態につきましては、総資産は、14,327百万円と前連結会計年度末に比べ15百万円の増加となりました。これは主に、流動資産において仕掛品が242百万円、固定資産において投資有価証券が1,332百万円それぞれ増加した一方で、流動資産において現金及び預金が545百万円、有価証券が498百万円、受取手形及び売掛金が397百万円、固定資産において無形固定資産が86百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

(負債)

負債は、3,871百万円と前連結会計年度末に比べ110百万円の減少となりました。これは主に、流動負債において流動負債その他に含まれる未払金・未払費用が333百万円、同預り金が121百万円それぞれ増加した一方で、流動負債における未払法人税等が198百万円、賞与引当金が403百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産は、10,456百万円と前連結会計年度末に比べ125百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により664百万円増加した一方、配当金の支払いにより281百万円減少したことによるほか、その他有価証券評価差額金が132百万円、自己株式の取得により159百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の業績予想につきましては、2018年5月2日に公表しました内容に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,583	4,037
受取手形及び売掛金	3,346	2,948
有価証券	999	500
仕掛品	106	348
原材料及び貯蔵品	1	1
その他	208	190
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	9,241	8,025
固定資産		
有形固定資産	583	560
無形固定資産	413	327
投資その他の資産		
投資有価証券	3,160	4,493
その他	933	932
貸倒引当金	△22	△12
投資その他の資産合計	4,071	5,413
固定資産合計	5,069	6,301
資産合計	14,311	14,327
負債の部		
流動負債		
買掛金	192	194
短期借入金	60	100
未払法人税等	298	100
賞与引当金	952	548
資産除去債務	5	—
工事損失引当金	3	2
その他	1,019	1,456
流動負債合計	2,532	2,401
固定負債		
退職給付に係る負債	1,209	1,228
資産除去債務	44	46
その他	194	194
固定負債合計	1,448	1,469
負債合計	3,981	3,871
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,448	1,448
資本剰余金	1,641	1,644
利益剰余金	7,906	8,287
自己株式	△958	△1,118
株主資本合計	10,037	10,261
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	356	223
退職給付に係る調整累計額	△154	△135
その他の包括利益累計額合計	201	87
新株予約権	87	102
非支配株主持分	3	4
純資産合計	10,330	10,456
負債純資産合計	14,311	14,327

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	11,150	11,796
売上原価	8,819	9,332
売上総利益	2,331	2,463
販売費及び一般管理費	1,472	1,500
営業利益	858	963
営業外収益		
受取利息	14	13
受取配当金	7	8
その他	6	8
営業外収益合計	28	31
営業外費用		
支払利息	0	0
保険解約損	—	4
その他	—	0
営業外費用合計	0	5
経常利益	886	989
特別利益		
固定資産売却益	2	—
受取保険金	4	1
特別利益合計	6	1
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	893	990
法人税等	296	325
四半期純利益	596	665
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	595	664

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	596	665
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38	△132
退職給付に係る調整額	18	18
その他の包括利益合計	57	△114
四半期包括利益	653	550
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	652	550
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(2017年4月1日から2017年12月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,326	2,889	5,933	11,150
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	59	14	74
計	2,326	2,949	5,948	11,224
セグメント利益	601	395	1,094	2,091

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,091
セグメント間取引消去	82
全社費用(注)	△1,315
四半期連結損益計算書の営業利益	858

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

II 当第3四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年12月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,369	2,958	6,468	11,796
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	61	14	75
計	2,369	3,019	6,483	11,872
セグメント利益	617	306	1,296	2,220

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,220
セグメント間取引消去	83
全社費用(注)	△1,339
四半期連結損益計算書の営業利益	963

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。